

第31号

平成23年12月

●スペースパークボランティアの会●

# S.P.Vつらしん

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

郡山市ふれあい科学館  
スペースパーク

## 祝!開館10周年特集



22階展望ロビー

郡山市ふれあい科学館(スペースパーク)は、平成23年10月1日に開館10周年を迎え、23階宇宙劇場(記念式典・講演会)・22階展望ロビー(記念セレモニー)が開催された。

### 記念式典

記念式典には松本零士名誉館長も駆けつけ、郡山市長はじめ多くの来賓が出席される中、名誉館長から「これからも未来のために夢をかけて頑張りたい、夢は実現する」と希望に胸膨らむ温かいエールをいただいた。

市長と市議会議長からは「今後ともに魅力があつて楽しめる施設にする」と心強い挨拶の中に、科学館発展にはボランティア活動の参加も寄与していると紹介いただき、思いがけない言葉に思わず「じ~ん」とくるものがあり感激した。会員一同、私たちの活動に改めて自信と誇りを再認識していただきたい。

続いて11年目スタートのカウントダウンが小学生7名によって行われ、最後に10年間のメモリアル映像が上映され終了した。

### 講演会

福島県出身で科学館やS.P.V 天文グループと関わりが深い国立天文台教授 渡部潤一先生の「宇宙この10年とその未来」と題した講演会が行われ、まだまだ夢多い宇宙について楽しくわかりやすく紹介された。

### 科学の祭典 in こおりやま

10月1日、2日の両日は入場料無料となり、科学館20階～23階の他にビックアイ1階、7階、8階を使用し多彩なイベントが行われた。S.P.V会員も多数参加し共に楽しむことができた。

特に、科学グループは21階工作コーナーで「くるくるタワー」を担当し、子どもたちが完成品をくるくる回しながら喜んでいる姿が目に付いた。

外が暗くなる頃からは天文グループの出番、駅前大観望会では月、ベガ、アルタイルなどの天体ショーに多くの市民が集まり共に楽しんでいた。

### 10周年記念事業

#### ☆鉄道フェスティバル 10/8(土)～16(日)

今年は記念イベントということで8日間と長く、内容も「きかんしゃトーマスとなかまたち」とあって、子供たちには大人気で連日大賑わいであった。

S.P.Vも1時間ごとの鉄道ジオラマショー、赤青(3D)メガネ工作、Nゲージ鉄道模型操作体験に参加した。

#### ☆ドラえもんの科学みらい展 12/10(土)～1/15(日)

ドラえもんの夢  
のような数々の  
ひみつ道具がど  
こまで実現する  
か体験!

結果は??

(久野 功)



### スペースパークボランティア募集!

※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。  
郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

**TEL024-936-0201**

# 郡山市ふれあい科学館 開館10周年によせて

科学館開館10周年おめでとうございます。私は平成15年7月に科学館案内ボランティアの一員として迎えていただき、8年余りが経過いたしました。

この間に私は、担当職員の方が作成された郡山の歴史資料を基にして、生涯学習の一環として、案内ボランティアミニツアーアー(郡山の歴史跡を事前探索して、案内ボランティアの皆さんを現地へご案内)のリーダーをさせていただきました。

郡山は歴史のない街とされていますが、相次ぐ戦火に焼かれて、尊い資料が失われたことも事実です。郡山が安積開拓からどのように現在まで発展したのかを考えるとき、先人の艱難辛苦に耐えられた努力に、感謝しなければならないと思います。

案内ボランティアの組織も充実して参りました。科学館のさらなる発展のために、私たちも幾分か寄与させていただければ幸いです。

(先崎 豊)

定年後、第二の人生の歩みの一つとしてほんの軽い気持ちでボランティアを始めました。

ボランティア活動を通して、長い間住んでいたながら今まであまり知らずにいた、郡山の歴史、経済、地理などについて、少しずつ分かってきたような気がします。さらに子供たちを相手にすることで、彼らの素朴な疑問や意外な発想に驚かされたりもしています。

細々とですが、この活動を続けたことにより、私自身得るものが多く、ボランティアは自分のためであることを日々実感しています。

これからも、いろんな方々との出会いを楽しんでいきたいと思っています。

(佐久間 秀子)

「天体望遠鏡で、初めて月や土星を見たとき、大人も子供も、純粋に驚きや、きらきらとした目の輝きなど、普段とは違った生き生きとした表情を見せてくれます。

そんな感動する瞬間に魅了され、気が付けばずいぶん長いことボランティアをやっている自分がいます。

星を見て純粋に喜んでくれる方がいるかぎり、これからも天文ボランティアを続けたいと思います。

(齋藤 正一)

開館10周年おめでとうございます。

案内ボランティアの1期生としてお世話になってから、「もうそんなん」という思いです。

当時、22階展望ロビーからの初の眺望はとても感動的で、「あっ、安達太良山だ! 綺麗!」「我が家はあの辺りかな?」などと改めてこの地への愛着が湧く思いました。

また、23階のプラネタリウムでは、その夢のような世界に驚き、さらに科学や宇宙を身近に感じることができました。目で、心で、そして体でそれらを体験できるこの郡山市ふれあい科学館は、特に地域の子どもたちにとってとても有意義な施設であると感じました。

そして現在、私たちも科学館の一員として、本館ならではの特色ある案内が出来るよう努めねばと感じております。もちろん、楽しみながら!!

(佐藤 サト)

科学ボランティアの一期生として8年が経ちました。これまで科学ボランティアの自主研修で国立天文台野辺山観測所(長野県)や水沢観測所(岩手県)へ行って研修と懇親を深めてきました。科学館のスタッフからの指導も大変心強く、楽しく活動させて頂きました。

しかしながら、当初30名おりました一期生も都合で退会される方もあり、少し寂しい思いもしています。ここ数年、若い人がどんどん入ってきて心強い思いもあります。一期生の皆さん、これからも後輩の皆さんと共に楽しみながら頑張りましょう。“若返りますよ”

(山崎久夫)

科学館開館10周年おめでとうございます。私が天文ボランティアを始めたきっかけは工作好きが高じて口径32センチの望遠鏡を作ってしまったこと。ちょうどその頃、館の方からボランティア募集の話を聞きました。この望遠鏡で多くの人に星空を楽しんでもほしい…なんて言うのは二の次で本心は、自作の望遠鏡を見てもらいたかった、そんな不純な動機でボランティアの仲間入りをしました。

それまで単独でやっていた星見もたくさんの仲間と出会い、また多くのお客様と接して活動の幅も広がり仕事より生き生き?とやっていることに気づかされます。これからもハッピー2乗の法則で頑張りたいと思います。

(捧 芳光)

郡山駅西口に背の高いビルが出来るという噂が立ってから、どのくらい経つんだろうか。噂が本当となり建設がはじまつた。やがて月を重ねるごとに空へと向かって延びてゆき、県内随一のビル「ビッグアイ」が姿を現した。

最上階が科学館として整備されると、市街を360度眺めることができる、地上96メートルの展望ロビーが出来上がつた。

その階の一部にNゲージ「鉄道ジオラマ」が設置され、平成13年10月に郡山市ふれあい科学館が開館した。

その鉄道ジオラマを動かす際に、郡山市街地の発展のようすや、鉄道車両の説明などを行うため、鉄道会社の退職者の方々に呼びかけ、翌年の平成14年に、鉄道ボランティアとしての活動がスタートした。

始めは少ない人数であったが、徐々に増えていき、多い時で30名以上まで増加し、現在は10名前後に減少したが、今後も鉄道ボランティアが続していくために、各ボランティアの方々と協力して頑張りたい。

(国分 辰夫)

科学館10周年おめでとうございます。

飽きやすい私がこんなに続くとは思いませんでしたが、科学館の職員の皆様、スペースクルーの皆様、そしてS.P.Vの会長はじめ役員の皆様、科学グループ担当の皆様のおかげで続けられました。

子ども達の笑顔を見るために今後も続けたいと思います。

次の20周年・30周年の記念号にもお祝いさせて頂きたいと思います。

(佐藤 博志)

田舎で育ち、満天の綺麗な星空が当たり前にと思っていた子どもの頃。ただ星を見るのが好きだけでボランティアに応募しましたが、勉強会や研修の機会を作っていただき、益々星を見るのが大好きになりました。感謝!!

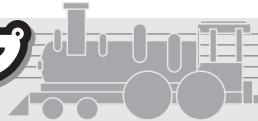
駅前観望会では数えられるほどの星しか見えませんが、それでも望遠鏡の中に、キラッと光る星や、土星の輪や木星の衛星、月面のクレーターなどを見つけ、参加の方に「わあ!!」と感動していただけると、私も嬉しくなります。

これからも一期一会の心を大切にし、活動して参りたいと思います。

開館10周年、おめでとうございます。

(鈴木 和子)

# 鉄道ジオラマグループ



## 鉄道フェスティバルを終えて

今年も盛大に鉄道フェスティバルが開催されました。震災の影響で今年は無理かなあと思っていましたが、なんとか無事にでき良かったと思います。

前回と違って今回は「きかんしゃトーマス」のイベントが中心でしたが、Nゲージ操作体験も健在でした。今回の操作体験コーナーでは僕が持ってきたE501系常磐線と719系あかべえが入線しました。しかし、E5系はやぶさが圧倒的な人気で敵いませんでした。僕が不在の時には、EH500のタンク列車と、455系あかべえが使われていました。

昨年から鉄道ボランティアに入り、こんなに忙しかったのは初めてでしたがとてもいい勉強になりました。

将来は、1月にお亡くなりになった渡辺さんの遺志を受け継いで、16両の新幹線が走れるほどのレイアウトを作って、お客様をもっと喜ばせたいと思います。

(古田 高廣)



# 科学グループ



## 鉄道フェスティバル

今回の鉄道フェスティバルは10周年記念ということで2週にわたり実施、私たちは赤と青のフィルムを使用する「3Dメガネ」を行いました。

作成したメガネでみると、3D用に印刷した電車車両の写真が浮き上がって見えます。わりと簡単にできる子、ちょっと苦労している子、いろんな子がいて楽しくできました。

電車が好きで用意した写真の電車を全部知っている子、3Dに見えなくて困惑している子など反応がいろいろで面白かったです。

フェスティバル1週目で結構苦労していたフィルムを枠にはめ

る作業は、2週目ではすでにその作業まで出来上がっていたので、スムーズにできました。おそらく、スタッフさんかボランティアが気を利かせてそこまでやっててくれたのだと思います。

このイベントで一番びっくりさせられたのは、20階で開催されていた「きかんしゃトーマスとなかまたち」での「トーマス」の人気です。これからもトーマスに負けないくらい頑張っていかなければと思いました。

(木田 宏明)



## ウィンターフェスティバルに参加して

当日は朝から小雨が降り、昼過ぎからは雨が降ってきました。寒い中オーバーなどを羽織りながらの活動でしたが、非常に多くの方にお越しいただきました。



科学ボランティアでは科学工作「くるくるタワー」と「コケコッコカップ」を行ない、隣で行なわれていた那須どうぶつ王国の動物たちに負けじと、コケコッコッ

プの鳴き声で子どもたちを呼び込みました。

子どもたちは、「コケコッコカップ」を濡らした紙でひもをこすると大きな音が出る様子に大変喜んでいました。この工作は、濡らした紙や布だけではなく、松脂を塗ることでも大きな音が出ます。どちらかというと松脂のほうが高い音が出るようです。色々な音の高さを比べるのも面白いかもしれません。

また「くるくるタワー」のほうも、通常の1個だけの風車だけではなく、大きな風車と小さな風車を組み合わせたりして、楽しく作っていただけたと思います。

子どもだけでなく、お年を召した方々にも作っていただけましたのは嬉しかったです。

(野津 裕二)

## 内田博士の魂の叫び!! ②5『放射線測定器(線量計)について』

既に線量計をお持ちの方も多いと思いますが機材によって計測値に開きが出てしまい、困惑されるケースも多いと思います。そこで、一般に多く普及している線量計は物質の表面の線量を計測することに適したものと、空間の線量を計測することに適したものとの二種類がありますので注意が必要です。また電子式の線量計は携帯電話等の通信機器や線量計自体から発生するノイズに反応してしまう場合もあります。線量計の構造は比較的簡単で、高線量では数値に大きな開きはないの

ですが、その反面  $1\mu\text{Sv}/\text{h}$  程度の低線量では高感度が期待できませんので、計測した値に一喜一憂することなく線量の高低の目安として使用したいものです。それと最低3回は計測し平均の値を参考にすることと、時間(月日)の変化による放射線の線量の測定値を観察することが大切です。




**イベント情報**


# Event Information

## ボランティアまつり

会場:22階展望ロビー 参加費:無料

●3/17(土)・18日)

10:00~17:00



毎年恒例の“スペースパークボランティアまつり”が開催されます。

大活躍中のボランティアグループが今年繰り広げた様々な活動の集大成をみなさんにお贈ります。昔懐かし紙芝居の実演など楽しい企画がいっぱいです!みなさまのお越しをお待ちしております。

※写真は昨年の様子



## 天ボラの 知識の泉<sup>23</sup>

- ベテルギウスがもうすぐ爆発?!

オリオン座が見頃となる季節になりましたね。オリオンの右肩にある赤く輝く一等星を、ベテルギウスと言います。このベテルギウス、地球から640光年の距離にあり、大きさはなんと太陽の千倍、太陽系の大きさで考えると、地球の軌道を遥かに超え、木星の軌道近くにまで達するという超巨大な恒星です。そして最新の研究によると、すでにその一生の99.9%を終えていて、もうすぐ超新星爆発を起こすだろうと言われているのです。もし、ベテルギウスが爆発したら、私たちの目にはどのように見えるのでしょうか?まず、急激な温度の上昇により色が赤から青に変わり、やがて満月の100倍の明るさで輝くようになります。そして昼間でも青空の中で明るく煌き、それが約3ヶ月も続くだらうと予想されています。有史以来、肉眼で目撃された超新星爆発は7回程しかないそうですから、私たちが生きている間に目撃することが出来たなら、こんなにラッキーなどはありませんね!ベテルギウスに注目です!!

(齊藤 淳子)

## 今号のきら星☆さん

科学グループ 山田 善貴さん

幼い頃から組立て玩具の類が大好きで、憧れは発明家でした。とは言え、手先が器用な訳でもないので、刃物で怪我をしたり、完成図通りにいかないこともしそう…。しかし、自分の手で作り上げ、無限にイメージを膨らませていける工作の魅力にどっぷりハマっていた小学生時代であったように思います。

科学や工作で味わえた充実感ははずつ忘れられず、そうした魅力を伝える立場になりたいと実験教室の講師となって子供さん達と共に科学を楽しんできました。

故郷の郡山に戻ってからはそのような環境とも疎遠になってしまっていたのですが、震災を受け、自分に出来ることはないと求め出

逢えたのがこのS.P.Vです。一生懸命取り組み、自作の科学工作で嬉しそうに遊ぶ子ども達が返してくれる真っ直ぐな笑顔。一人ひとりとじっくり向き合い、“自分なりの工夫”に至るまで共に探していくいたらと思います。

外遊びに負けないくらいドキドキわくわくする時間を一緒に築いていきましょう!至らぬところも多々あると思いますが、今後とも宜しくお願い致します。



## S.P.V 活動情報(~3月)

ほかに公民館など市内出張活動を予定

### 案内サービス “昔懐かし”紙芝居 (約15分)

◇随時実演 ☆展望ロビー(北)

### 鉄道ジオラマ ジオラマショー案内 (約20分)

◇11:00~、15:00~、17:00~ ☆展望ロビー(東)

### 科 学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00~15:30 ☆21階展示ゾーン入館者対象

### 天 文 天体観望会

◇3/17(土) 18:30~19:30 ☆郡山駅西口駅前広場

※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

## ★『S.P.Vつうしん』発行予定 第32号 3月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集  
あとがき

(隆)10周年おめでとうございます。「十年一日の如し」といわれないように日々前進しましょう。

(国)木枯らし風が吹き去る季節なれど、健康に留意し、元気で新年を迎えましょう。

(熊)科学館10周年! 我々S.P.Vは8周年、もうすぐおいづきます。

(星)10周年おめでとうございます!出会った多くの人に感謝し、明るい未来を信じて一歩ずつ前へ!!

